



英和校舎の改修完了

12日から中・高生が供用

改修が終わった山梨英和中
高の校舎 一甲府市愛宕町

山梨英和学院(シヨージ・ギツシユ理事長)は1月30日、山梨英和中学、高校の校舎の竣工式を行った。これまでの中学校舎を改修し、2月12日から中学と高校の生徒が使う。竣工式には学校、工事関係者ら約140人が出席。ギツシユ理事長は「より安全で

効率的な環境を備えることができた」とあいさつした。高校の福田涼奈生徒会長は「6学年がともに学ぶ環境が整い、うれしい」と話した。

改修は創立130周年記念事業の一環。これまで中学生は敷地西側、高校生は東側の校舎で授業を受けていた。改修工事で中学校舎の普通教室を2部屋増やし、12日からは2階で中学生、3、4階で高校生が学ぶ。
すべての普通教室に電子黒

板とプロジェクトを配備。新学習指導要領のアクティブラーニングに対応するため、従来より軽いイスや机を採用し、グループワークがしやすいようにした。(土屋圭佑)